

セブン「脱24時間」本格化

時短営業店、来月から拡大

セブン-イレブン・ジャパンは21日、フランチャイズ加盟店の時間短縮営業を

本格的に実施すると発表した。第1弾として、時短営業の実験を行っている23

0店舗のうち8店舗で11月1日から移行し、順次拡大する。当初は24時間営業の維持にこだわってきたが、



コンビニの時短営業

24時間営業を原則とするコンビニのフランチャイズ加盟店の一部で、従業員が確保できず、夜間などの時間を短縮する営業形態。今年2月、大阪府でセブン-イレブン加盟店が独自に時短営業に

踏み切ったことで、コンビニの過酷な労働実態が明らかに。24時間営業見直しの機運が高まった。大手コンビニでは営業時間短縮の実験をしたり、加盟店の事情に応じて時短営業を認めたりしている。

踏み切ったことで、コンビニの過酷な労働実態が明らかに。24時間営業見直しの機運が高まった。大手コンビニでは営業時間短縮の実験をしたり、加盟店の事情に応じて時短営業を認めたりしている。

0店舗のうち8店舗で11月1日から移行し、順次拡大する。当初は24時間営業の維持にこだわってきたが、問題の広がりを受け時短営業を正式に容認する。加盟店向けの手順書「深夜休業ガイドライン」も作成した。

（2面に関連記事）
コンビニ最大手が時短営業に支払うロイヤルティーは

セブン-イレブン・ジャパン 社長会見ポイント

- 時間短縮営業の実験をしているフランチャイズ加盟店230店舗のうち、11月1日から8店舗で時短営業を本格実施
- 時短営業するかどうかは加盟店オーナーが最終的に判断。移行店舗は一部にとどまるとの見方を示す
- 加盟店が時短営業に移行する際の手順書「深夜休業ガイドライン」を作成
- 手順書は11月に加盟店に配布。主に利用客への影響や具体的な時短形態、従業員の労務対応について、事務的な内容を記載

他のコンビニや流通、飲食業などでも脱24時間の動きが加速する可能性がある。

24時間営業の店舗を優遇する仕組みのままで、各店舗が実際に時短営業に踏み切るかどうかは不透明だ。

同社が7月に実施したアンケートでは約2200店舗が時短営業を検討している

永松文彦社長は東京都内で記者会見し「ガイドラインを基にオーナーと打ち合わせをする。（時短営業するかどうかは）オーナーが最終的に判断する」と説明。

同社が7月に実施したアンケートでは約2200店舗が時短営業を検討している

永松文彦社長は東京都内で記者会見し「ガイドラインを基にオーナーと打ち合わせをする。（時短営業するかどうかは）オーナーが最終的に判断する」と説明。

大阪府のセブン-イレブン店舗で2月、人手不足から独自に営業時間短縮に踏み切った24時間営業を原則とする本部と対立。本部側の対応に批判が集中していた。

24時間営業を巡っては大阪府のセブン-イレブン店舗で2月、人手不足から独自に営業時間短縮に踏み切った24時間営業を原則とする本部と対立。本部側の対応に批判が集中していた。

- ① 21日、セブン-イレブン・ジャパンはフランチャイズ加盟店の時間短縮営業を本格的に実施すると発表しました。第1弾として、11月1日から時短営業に移行するのは何店舗ですか。

【 店舗 】

- ② だれが時短営業するかどうかを最終的に判断しますか。

【 】

- ③ 同社が作成した「深夜休業ガイドライン」に記載されている主な内容を2つ書きましょう。

【 】

【 】

- ④ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。